

議会報告会会議録

1 開会日	平成28年5月14日(土) 午後 3時00分 開会 午後 4時30分 閉会
2 場 所	保健センター 2階 研修室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 柴崎 茂議員 (司会進行) 竹内恵美子議員 (平成28年度予算の主な審査内容について) 奥津勝子議員 (") 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 玉虫志保実議員 (記 録) 鈴木京子議員 (") 三澤龍夫議員 (会場受付) 二宮加寿子議員 (") 清田文雄議員 (マイク設置等) 片野哲生議員 (写真撮影) 鈴木京子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	18人
5 報告事項	(1) 平成28年度予算の主な審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 7 年目を迎えた。今回は平成 28 年度予算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 28 年度予算の主な審査内容報告

・・・竹内恵美子議員、奥津勝子議員

『議会だより大磯』第 182 号及び議会報告会資料に基づき、平成 28 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 町税収入が落ちて入るが、町の収入を増やす策はあるのか。

答： 歳入確保の取組みとして、滞納徴収の強化、受益者負担の見直し、所有財産の処分など行政経営プランで掲げているが、実行できるかは今後の課題である。

問： 近隣自治体に比べ、前年度予算額に対する新年度予算額の伸び率が飛びぬけて大きくなっているが、理由はあるか。

答： ごみ処理広域化で、今年度大磯町はリサイクルセンターを建設する。この整備のため予算額が大幅に伸びている。

問： 1 市 2 町ごみ処理広域化推進事業は計画が変わったが、財政を圧迫しないか。財源の裏付けは大丈夫か。1 市 2 町の議会同士で情報交換を行ってほしい。

答： 今後、検討していきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分

かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ1（町民4名・議員3名（竹内恵美子議員・二宮加寿子議員・高橋英俊議員））

意： イノシシやアライグマなど動物被害が広がっているが、町は対策を行っているのか。

意： 自宅の井戸が防災指定井戸に指定されている。井戸は防災指定井戸としてこのまま維持していったほうが良いのか。

意： ごみ集積場所にカラスや鳥などが来て困っている。町でカラス対策を行ってほしい。

意： 道路のすれ違いが難しい場所がある。安全対策を行ってほしい。

グループ2（町民4名・議員3名（関威國議員・清田文雄議員・鈴木京子議員））

意： 旧東海道松並木維持のボランティアを行っているが、最近、町から情報が何もない。町は松並木をどのように維持管理していこうとしているのか。ボランティア活動に対する補助もなく、我々は費用を出し合い維持管理を行っている。

意： 議会ホームページの会議録がとても読み難い。行間を空けるなど読みやすくすべきだ。また、掲載時期も遅過ぎる。傍聴に行けない人のことも考えてほしい。

意： 町有地（遊休地）の有効活用を速やかに行ってほしい。

意： 買い物難民を出さぬよう、地元商店街の活性化を図ってほしい。

意： 各地で様々な災害が発生している。自主防災組織充実のため補助金を増やして欲しい。一律の補助でなく、人口や世帯数に応じた補助も考えるべきではないか。

グループ3（町民5名・議員3名（三澤龍夫議員・玉虫志保実議員・渡辺順子議員））

意： 今後、個人住民税はそれほど増えないと思う。法人税を増やす政策が必要だ。公害を起こさない企業を誘致してほしい。

意： 町長選挙の際、現職と違う候補者を応援したところ町に係わる仕事を外された。町民の意見を町政に反映しない、反対意見を取り入れない、町長のイエスマンしか置かない。このような町の姿勢は疑問である。

意： 津波避難タワーは必要なのか。それよりも、西湘バイパスに階段を付け、登れるようにした方がいい。

意： 法人会総会に町長が来ない。代理で出席する職員は観光の話しかしない。町が考える観光でいいのか。町民が喜ぶまちづくりが観光の基本ではないか。

意： 二宮町は、県営団地に植樹したり、ふれあい農園や空き家対策を行ってい

る。町の活性化のためには、農地の規制緩和で農地を解放することも必要ではないか。

意： 生活道路を確保し、面整備で住みやすい町にしてほしい。

意： 町、議会、住民が話し合うテーブルがない。

意： 高麗の祭りに議員の参加が少ないのは残念だ。高麗神社を通じ埼玉県日高市との交流がある筈だが、情報不足で町の関わり方が分からない。議会へ情報提供は無いのか、一部の議員しか知らないのか。今年は1300年祭があるがどうなっているのか。

グループ4（町民5名・議員3名（奥津勝子議員・片野哲生議員・柴崎茂議員））

意： 大磯港みなとオアシス推進事業は町民のためになるのか。

意： 津波避難タワーは、港の整備とセットで考えられなかったのか。

意： 人口が減ってきている。観光で定住化させると言っているが、観光を推進することを果たして町民が望んでいるのか。

意： 観光で良いのか。議会での議論はあったのか。

意： 大磯オープンガーデンの冊子があるが、地図の場所がわかり辛い。

意： 伊藤博文邸やNCR跡地は今後どうなるのか。

意： 自主防災組織運営交付金が3万円に減額された。3万円では満足な活動ができない。交付金を増やす考えはないか。

意： 駅前の自転車駐車を新しく建てたが、古い駐車がそのまま残っている。古い駐車を残したまま一体どうしようとしているのか。

(4) 閉 会
